

さいたま市長定例記者会見

令和4年6月15日（水曜日）

午後1時30分開会

○ 進 行 定刻になりましたので、市長定例記者会見を始めさせていただきます。
それでは、記者クラブ幹事社、東京新聞さん、進行をよろしくお願
いいたします。

○ 東京新聞 6月の幹事社、東京新聞です。よろしくお願
いいたします。
それでは、市長のほうから御説明をお願いします。

○ 市 長 皆さん、こんにちは。
最近、「マイナンバーでマイナポイント第2弾」というCMをよく目に
いたしますが、一方で申請方法が分からない、どこに行けばいいの
か分からないという声を聞くことがあります。

本市では、10区役所全てにマイナンバーカード申請の会場を設置し、
一人ひとりに申請用写真の無料撮影や、記載方法などのサポートを
しております。さらに、マイナポイントの申請を希望する方に対
してもサポートをしております。

また、平日に時間を取ることが難しい方のために、今週末の18日土
曜日、19日日曜日に、浦和パルコ4階に申請サポートの特設会場が
開設されますので、ぜひ御利用をお願いしたいと思います。

現在、実施中であり「マイナンバーカードでマイナポイント第2弾」
では、新規取得した場合に最大5,000円分相当のポイントが受け
取れます。

さらに、6月30日からは健康保険証の利用申込みで7,500円、公
金受取口座の登録で7,500円、合計で2万円分相当のポイントを
受けることができ、大変お得です。

この機会に、ぜひマイナンバーカードの取得を御検討くださ
いますようお願いいたします。

それでは、議題に入ります。

市長発表：議題1「新型コロナウイルス感染状況とワクチン接種事業について」

まず初めに、議題1「新型コロナウイルスの感染状況とワクチン接種事業」について御説明します。

まず、最新の本市の感染状況について御説明します。先週1週間の新規陽性者数は765人で、前週と比べると約0.84倍です。

週別の推移につきましては、この約1か月間緩やかな減少が続いていましたが、日別の新規陽性者数について右上のカレンダーを見てみますと、先週末から前週の同じ曜日と同等、または上回る状況となっており、下げ止まりの傾向も見られます。

本市の感染状況は、第6波のピーク以降一時的な増加はあったものの緩やかな減少が続いたことにより、現在約5か月ぶりに1週間の新規陽性者数が1,000人を下回る水準まで低下してきました。

本市としては、警戒を緩めることなく今後も最新の感染状況を注視し、保健所の体制強化とワクチン接種を含めた感染防止策に引き続きしっかりと取り組んでまいります。

次に、本市の新型コロナワクチンの接種事業について御説明します。6月15日時点での接種率については、1回目が81.4%、また2回目が80.9%で、3回目につきましては、こちらは対象者が12歳以上ですが、接種率は64.6%となっています。

また、6月14日発送分までの3回目接種用クーポン券の発送件数は102万5,613件で、2回目接種を受けた方への発送をおおむね終了しています。

次に、4回目の接種について御説明します。前回の会見でも御説明しましたとおり、4回目接種は新型コロナウイルスに感染した場合の重症化予防を目的として、3回目接種から5か月以上経過した方のうち、60歳以上の方及び18歳以上59歳以下で、基礎疾患を有する方や重症化リスクが高いと医師が認める方に行うものです。

4回目接種も、市内の個別接種実施医療機関と集団接種会場で接種を進めてまいります。なお、個別接種実施医療機関ではファイザー社と武田/モデルナ社の2種類のワクチンを、集団接種会場では武田/モデルナ社の

ワクチンを使用します。

7月の集団接種会場は、9日までの週末の4日間は市営桜木駐車場で実施し、高齢者の接種が本格化する20日からは、新たに市内に5会場を開設します。重症化予防のために、接種用クーポン券が届いたら早く打てるワクチンで接種の予約をお願いします。

6月は、若い方が接種を受けやすくなるよう、ファイザー、モデルナ、ノババックスと3種類のワクチンで、1回目から3回目の接種ができる会場をそれぞれ用意しています。

現在、個別接種会場また集団接種会場ともに予約枠に余裕がありますので、希望する方は早めの接種を御検討いただきたいと思います。

市長発表：議題2「7月1日から油面川排水機場の供用を開始します」

続きまして、議題2「7月1日から油面川排水機場の供用を開始します」について御説明します。

初めに、油面川排水機場について御説明します。油面川排水機場は、桜区を流れる準用河川油面川の流域における浸水被害の軽減を目的として整備を進めてきた施設です。

油面川の流域では、合流先の1級河川鴨川の水位が大雨により上昇した場合、雨水の自然流下による排水ができず浸水被害が発生する可能性があることから、鴨川堤防に設置されたゲートを閉じ、ポンプにより油面川の水を鴨川へ強制排水するための施設として、平成28年度から整備を進めてきました。

次に、整備スケジュールについて御説明します。本施設は、平成28年度から用地買収に着手し、翌年の平成29年度に工事に着手、また各種関連施設の整備を進めてきたものです。

また、令和元年10月の台風第19号では、東日本を中心に記録的な大雨となり、本市におきましても深刻な浸水被害が発生したことは記憶に新しいところです。中でも、桜区の浸水被害は最も深刻なものとなり、1,000件を超える床上、床下浸水が生じました。

このような状況に対応するためには、当施設の早期整備が必要不可欠であるため、浸水被害の状況を踏まえ、工程の見直しを図り、供用開始目標

時期を令和5年の春から前倒して令和4年の夏にし、整備を進めてまいりました。

このたび、多くの皆様の御協力により、当初の予定より1年弱早い7月1日から供用を開始させていただくことになりました。

次に、当施設の概要について御説明します。(施設の概要については)御覧いただいているとおりですが、排水能力は1日に最大17万立方メートル、これは一般的な25メートルプールに換算すると、およそ480杯分の雨水を強制的に排水することができる施設になります。

また、これまでに用地買収工事にかかった総事業費は、およそ18億円になります。

次に、当施設の整備効果について御説明します。こちらの図を御覧ください。この左側の図は、令和元年10月の台風19号時の浸水状況を浸水シミュレーションで再現したものです。右側の図は、令和元年10月の台風19号と同等の降雨に対し、油面川排水機場を稼働させたときの効果を検証したものです。

当施設の稼働後では、稼働前と比べると床上浸水については97%、床下浸水は81%を低減できることを確認しております。

最後になりますが、私自身、先月の5月27日に現場を視察しまして、整備状況を確認してまいりました。排水用のポンプなど、大規模な機器が実際に据えつけられている状況を目の当たりにしまして、浸水被害軽減の一翼を担う頼もしい施設の完成に、大きな期待を感じたところです。

来月、7月1日より当施設の供用が開始されます。これから本格的な出水期を迎えることとなりますが、市民の皆様が安心して暮らせるよう万全を期すとともに、近年の激甚化する災害にも強いまちづくりを引き続き推進をしてまいります。

私からは以上です。

議題に関する質問

○ 東京新聞

幹事社から何点かお伺いしたいんですが、まずワクチンメーターの3回目目が64.6%という数字について、市長はどうお考えなのか。例えばゴールデンウィーク中に、受けやすい時間にとか夜ですとか、働いている方にとか、いろんな時間に設定されて、集団接種会場も。3回目を打ってい

る方の割合を伸ばすという試みをたくさんされていると思うんですが、これの効果が出ているのかどうか、どのように考えていらっしゃるのでしょうか。

○ 市長 まず、ワクチンの接種状況について言うと、1回目、2回目は非常にスピードアップをして、ピーク的时候には1日当たり1万5,000回ぐらい打てた時期もありました。そういった1回目と2回目と比べると、接種率が思ったように伸びないと感じております。

また、ゴールデンウィークのときに取組をしまして、若年層の方々についてはかなり接種していただいたと認識しておりますが、全体として40代、30代以下ぐらいの方々の接種率が、思ったより伸びていないと感じております。

引き続きこのワクチンの接種率が高くなるにつれて、感染の拡大が収まっているという状況もあるかと思っておりますので、引き続きワクチン接種についての積極的な呼びかけを行っていくとともに、できるだけ打ちやすい環境をつくっていききたいと思っております。

特に最近ファイザーがある程度確保できておりますので、ファイザーについてはかなり予約率が高まっている状況ですけれども、ファイザーを活用しながら、またあわせてモデルナについても十分御理解をいただいた上で活用していただきたい。また呼びかけを行っていききたいと思っております。

○ 東京新聞 さいたま市だけの話ではないんですけれども、感染者数が減ってしまうとまた危機感がなくなって、打つ人が少なくなってしまうという、割と悪循環というか、そういうのがありますが、その辺はこれから4回目も始まりますけれども、また改めて周知活動していくという形になりますか。

○ 市長 これから4回目も始まってきますので、またこれから夏休み等も近づいてきますので、いろいろお出かけをしたり、行動半径が広がってくると思っておりますので、より一層3回目のワクチンを積極的に打っていただけるように、様々な機会に呼びかけをしていききたいと思っておりますし、またできるだけそういった年代の方々に、打ちやすい環境をつくっていききたいと思っております。

○ 東京新聞 あと、油面川排水機場の件でお伺いしたいのですが、半年ぐらい、もっとですか、前倒しして供用できるようになったと。これは台風を受けてと

というお話ですが、工事の時期に東京五輪であったりとか、今だとウクライナなんかもありますけれども、資材不足なんかはたくさんありましたし、人材、工事をする人の不足なんかもあったと思うんですが、それが何か総事業費が前倒しすることによって、増えたり減ったりというのはあったんでしょうか。

- 市長 それは担当からお答えします。
- 事務局 事業費としては、変化はなかったところです。
- 東京新聞 特に人員の手当とか、その辺も大丈夫だったということでしょうか。
- 事務局 人員も計画的に、継続費等を用いて予定をもって行ってきたところです。特にありませんでした。
- 東京新聞 幹事社から以上です。
市長の説明について、質問がある社はマイクを使用してお願いします。
- 埼玉新聞 埼玉新聞です。
議会でも出ていましたけれども、コロナの感染状況が落ち着いてきて、イベントの開催についての問題があると思うんですけれども、この間の発表だと浦和まつりはまだ検討中というような文言だったんですけれども、この辺の夏祭りについての市長のお考えはいかがでしょうか。
- 市長 基本的には、私たちとしては感染対策をした上で、できるだけ実施していただきたいという考え方を持っておりますが、ただ、お祭りということで一部密集したり、対策が難しい状況もあります。
そうした中で、それぞれの地域ごとに、実行委員会を設置しておりますので、そうした皆さんに御議論いただきながら、一部難しいケースについては縮小していただいたり、あるいは少しやり方を変えたりしていただくことも含めて御検討していただきながら、できるお祭りについては実施していきたい。やむを得ずできないケースもあるかもしれませんが、何らかの形で実施していただければと考えております。
- 埼玉新聞 花火はやっぱり無観客ということですが、やっぱりおみこしなんかは難しいような判断なんですか。
- 市長 おみこしの場合は、基本的には密集した形でおみこしを担ぐ、あるいは担ぐ場合にはマスクの着用であるとか、どうしても声を出すなど、対策上難しいこともあるのかなと考えているところです。

いずれにしても、そういった対策を取りながら、できることについてはできるだけ実施していただきたいと思っておりますし、これまでお祭りは地元の皆さんでつくられている実行委員会が中心となっておりますので、そういった皆さんと御相談しながら決定していくことになると思います。

○ 埼玉新聞 市のほうから、そういった方針というのは示されているんですか。例えば三社祭は、いろんなPCR検査とかして実施したみたいですが、その辺はいかがですか。

○ 市長 できるだけやってほしいという方針はお伝えしていますし、また私どもも今年度のお祭りの予算については、通常より（約1.3倍）の予算を計上して、感染対策を取りながらできるような準備もしておりますけれども、最終的には感染状況なども踏まえながら、それぞれ実施される皆さんの最終的な判断も重要な要素になると考えております。

○ 東京新聞 ほかよろしいですか。

幹事社質問：参議院選挙について

- ・ 今回の参院選でどのような論戦を各党に期待しますか。一番の争点になる課題は何だとお考えでしょうか
- ・ 去年の市長選ではさまざまな形で各党の支援を受けられましたが、候補者の支援はどのように行う予定ですか
- ・ 投票率の低下が懸念されますが、市として啓発など予定されている事業があれば教えてください

それでは、幹事社質問をさせていただきます。

参院選についてです。まだ期日が決まっていなくて、今日国会会期末だと思っておりますが、恐らく22日公示、7月10日の投開票が有力視されているということです。

今回参院選があるのは確実なので、どのような論戦を各党に期待しておられますでしょうか。

それから、一番争点になるのは何でしょうか。市長の考えを教えてください。

○ 市 長 まず、参議院選への期待ですが、参議院選挙は衆議院選挙と違って、いわゆる政権選択選挙ではないと考えております。どちらかという、政権に対する中間評価的な意味合いが強いと考えております。

 その中で、そのために各党の公約の中に、当面の政治課題にどのように取り組むかという視点と、基本的に解散のない6年間という任期の中で、何に対して腰を据えて取り組むかという2つの視点をしっかりと示していただき、論戦を展開していただきたいと考えております。

 その中で、一番の争点となる課題については、非常に様々な政治課題が山積していく中で争点を一つに絞るのは、なかなか難しいと思っておりますが、政令指定都市の市長会として、5月25日に自民党の政調会長代行の古屋圭司議員に対しまして、第26回参議院議員通常選挙に向けた指定都市市長会提言を行わせていただき、各党に要望書を提出させていただいたところです。

 この要請の中は、大きくは5つあり、1つ目として「感染症対策に関する事務権限の移譲」、2つ目として「こどもまんなか社会の実現と持続可能な社会保障制度の構築」、3つ目としては「自治体デジタルトランスフォーメーションの推進」、4つ目が「脱炭素社会の実現」、そして5つ目が「多様な大都市制度の早期実現と大都市における税財源の拡充強化」について、現場を預かります指定都市の首長を代表して要請させていただきました。

 このほかにも、外政や内政にわたる様々な課題もありますので、各党、各候補者の認識をしっかりと示して論戦を闘わせてほしいと思っております。

○ 東京新聞 質問をまとめてするつもりだったんですが、1個でやめてしまったので、残り2つありますので、2つまとめます。

 昨年の市長選で、様々な形で各党の支援を受けられました。候補者の支援をどのようにされるかを教えてください。

 それから、投票率、ずっとさいたま市は低いので、今回も低いんじゃないかと懸念されております。市として啓発など予定されている事業がありましたら教えてください。

○ 市 長 それでは、幹事社の質問に順次お答えしたいと思います。

 まず、1点目の御質問ですけれども、最初に市長に当選してからは、ま

さに市民党という立場から、特定の政党に偏らない立場で市政運営を行ってまいりました。

そして、同じ思いを持ち、同じ方向性を向いている方と様々な形で連携、また協力しながら、さいたま市の発展のために市政運営を行ってきたところです。

今回も特定の政党や会派に偏った立場ではなく、市民の目線で施策を進める観点から、基本的にはどの政党や会派とも等距離という立場です。

ただ、昨年市長選の際に友情支援をいただきました。友情支援をいただいた方々から今個別に要請をいただいておりますので、そういった友情支援には友情でしっかりお応えしたいと考えております。

また、個別の御要請に対して、日程調整しながらそれぞれ協力していきたいと考えているところです。

いずれにしても、現職の方々を中心に、さいたま市政運営に、さいたま市の発展、市民のために大変力強い応援や協力をいただいていた方々もいらっしゃいますので、そういった方々あるいは友情支援をいただいた方々にはしっかりと応援でお返ししたいと考えております。

それから、2つ目の投票率の低下についてですが、今回の選挙は国政選挙ということで、国、そして県の選挙管理委員会におきまして、インターネット動画広告、またテレビCM、自動改札ステッカー広告など様々な手法で啓発が行われていると伺っております。

本市の選挙管理委員会では、市報さいたまへの掲載、投票所整理券に同封する啓発チラシによる選挙情報の提供など、市民の皆様へ直接届くような啓発を行っていくと伺っております。

また、6月1日から開設しております選挙特設ホームページにおきまして、投票日や投票方法等の選挙情報の周知を図るとともに、市公式ツイッター、LINE、フェイスブックによる投票の呼びかけを行っていくと伺っております。

特に参議院選挙については、ここ何回か（投票率が）減少している傾向が強くありますので、特に選挙は民主主義の根幹であることから、市民の皆様にはぜひ投票所に足を運んでいただいて、皆様の意思をお示しいただきたいと考えております。

以上です。

幹事社質問に関する質問

- 東京新聞 一応国政選挙なので確認させていただきたいんですけど、市長は出馬の御予定はないですか。
- 市長 ございません。
- 東京新聞 分かりました。
幹事社質問に関して、各社さん質問ありましたらお願いします。
- 毎日新聞 毎日新聞です。よろしくお願いいいたします。
先ほど市長会として提言書を提出されたと言われて、その感染症対策の事務権限の移譲と言われていましたけれども、市長はどういった事務権限を移譲してほしいと考えているのでしょうか。
- 市長 コロナについて言いますと、医療の部分、それから予算等の部分については、基本的には県に全てその権限が及んでおりましたので、私たち政令指定都市市長会としては、その権限を、特に都市部でコロナの感染状況が非常に強いので、その辺もう少し自由裁量の中で取組を進めていきたいという思いがあって、そういった権限移譲の考えを政令指定都市市長会の中でまとめまして、御要望させていただきました。
- 毎日新聞 予算があったら、どういうことをされたいのでしょうか。
- 市長 コロナ感染症対策であったり、あるいは経済対策であったり、大都市特有の部分がありますので、そういったことを、もう少し自由度があって、より拡充した形で行えればと思っております。
- 毎日新聞 感染症対策、経済対策は、当然市町村のほうにも予算が国、国費で来ていると思うんですが、その医療だったり予算の部分と言われた、医療の部分は自分のところでコロナ患者を入れるようにしたいとか、そういったことなんでしょうか。
- 市長 例えば医療機関について、臨時的な医療施設の許可権限であったり、そういったものが基本的な医療の部分で言えば、大半は県のほうに権限が集中しております。私たちとしては、その県と連携しながらの取組はできますけれども、独自には難しい環境の中で、これはさいたま市だけの問題ではなくて、むしろ20ある政令指定都市の中で皆さんそういった御意見が強くて、そういう権限についてももう少し、要するに大都市ではコロナの感

染者が多い現状がありましたので、（権限を）より拡充していただくことが望ましいということで要望させていただきました。

- 毎日新聞 さいたま市は、臨時医療施設をやったんですか。臨時医療施設の許可権限。
- 市長 要するにそういった権限があれば、やることも可能であったということです。
- 毎日新聞 なかったからやれなかったんですか。
- 市長 市立病院の件などは、当初いろんな御要望もありましたけれども、最終的には私たちとしては県にさせていただくことも可能ですよというお話をしましたけれども、最終的にコストの問題であったり、あるいは埼玉県全体の視点からそれを活用されなかったことはあったかと思っております。
それに、一つのことに限らず、どうしても大都市にコロナの患者が多く発生している状況の中で、県全体の視点と少し違うところが、これは20ある政令市の中でそういった事例があったことから、こういった要望をさせていただいたということです。
- 毎日新聞 感染予防の感染症対策のことで、前もちょっとお聞きしたんですが、その高齢者施設への定期検査、これは3か月ぐらいの予算を取っていると言われていましたけれども、もうそろそろその3か月終わるのかなと思うんですが、その後予算措置とかをまたお考えなんですか。
- 市長 ちょっと所管がおりませんので。いずれにせよ、不足をすれば当然補助していく考え方で進めている状況です。
- 読売新聞 読売新聞です。
先ほどの質問の関連なんですけれども、確かに実際に大都市中心にコロナの患者が多かったという状況はあったかと思うんですけれども、市長のお考えとして、県全体の視点と、政令市としての視点で、実際こういうところが違っていただかなとお感じになられたところがあれば教えてください。
- 市長 さいたま市のことでいうと、さいたま市と埼玉県とでは比較的それほど大きな視点の違いはなかったとは思いますが、どうしても全体を見る視点と、私たちはどうしても県の中で一番感染者数も多い状況の中で、あるいはクラスター対策など、人が集まる場所が多くて、感染もしやすい様々な状況がある中で、その対策、対応を取らなくてはいけない部分がありまし

たので、そうした中では自由度がよりあったほうが、やりやすかった場面は幾つかあったかもしれないと思っております。

- 読売新聞 関連してなんですけど、自由度があったほうがよかったなと感じた場面、幾つか例で、お感じになられた部分で教えていただければと思います。
- 市長 医療体制もありますけれども、例えばワクチンの配布の問題などもそうですし、いろいろ細かい点で言えば、もう少しこういったところ充実してほしいなと思う点は、私たちからするとゼロではなかったと思っています。
ただ、他の政令指定都市などと比べると、さいたま市と埼玉県についてはそれほど大きく視点がずれていたり、変わっていたところは、多くはなかったと思っております。
- 東京新聞 それでは、その他の質問がある社さん、よろしくお願いいたします。

その他：6月定例会一般質問の取下げ要請について

- 埼玉新聞 埼玉新聞です。
この間の一般質問の取下げ要請の話ですけれども、聞いている限りでは取下げ要請したというふうな印象を私は持ちますけれども、市長として受け止めはいかがでしょうか。
あと、様々一般質問に関しては、水面下では取下げしてほしいような話を、要望が幾つか出ているんじゃないかなと思いますけども、その辺の受け止めをお願いします。
- 市長 その取下げへの要請については、教育委員会からは小川議員との電話でやり取りしている中での発言で、取下げを依頼した発言ではなかったけれども、そういった誤解を招く発言をしてしまったという報告は受けているところです。
いずれにしても本会議で行われる一般質問は、市民を代表して議員が市政全般にわたって執行機関に対し、事務の執行状況、また方針などについて、所信をただして、そして報告、また説明を求めて、疑問をたず場所だと認識しております。執行部からの質問の取下げ依頼をすることは、あってはならないと認識しております。
小川寿士議員及び関係の皆様、並びに議会に混乱を招いてしまったこと、多大なる御迷惑をおかけしたのと考えております。
- 埼玉新聞 あの発言は、議運で説明がありましたけれども、聞いた限りで市長はど

う思われましたか。

○ 市 長 依頼をしたのかどうかについては、言葉の内容だけだと誤解を与えてしまっても仕方がないような言い回しになってしまったのかなと思っております。

○ 埼玉新聞 小川さんは誤解じゃないって明言されているんですけれども、聞いている限りでは誤解ではないような印象ですけれども、市教委は依頼していないという、これはちょっと矛盾しているような気がするんですけれども、いかがですか。

○ 市 長 それは、ちょっと当人同士でないと分かりませんので、教育委員会からは誤解を招いてしまったと、そういう発言だったと報告を受けております。

その他：核シェアリングに対する見解について

○ 埼玉新聞 もう一点、核シェアリングの話ですけれども、これについて共産党の方が質問して、市長の真意を聞いたけれども、市長は直接答弁されませんでしたけれども、これは答弁しない理由は何でしょうか。

○ 市 長 核シェアリングに対する見解につきましては、これまでも様々な場面で文書あるいはコメント等で丁寧に考え方を説明してまいりました。また、共産党の皆さんにも提出させていただいております。

そういったことがありましたので、今回の答弁については新たな考え方を示すものではなく、これまでと同様の説明であることから、所管部局である総務局長から答弁させていただいたものです。

繰り返しになりますが、非核三原則の考えの下に平和都市宣言をしているさいたま市の首長として、しっかりと平和推進事業に取り組んでまいりたいと考えております。

○ 埼玉新聞 関連ですけれども、市長自身が答弁するという判断というのは、どういう判断になるんですか。核シェアリングじゃなくても、全体的な。

○ 市 長 私が話をしたほうがいと判断した場合は。

○ 埼玉新聞 市長判断でということですか。

○ 市 長 そうということです。

その他：パートナーシップ制度改定について

○ 読売新聞 読売新聞です。

別件にはなるんですけれども、パートナーシップ制度の関係で、ファミ

リーシップを導入するというお話が今出ていますけれども、これに対する市長のお考え、ちょっと改めてお伺いできますでしょうか。

- 市長 パートナーシップについてですが、さいたま市がパートナーシップ宣言制度を導入してからちょうど2年が経過しております。この間性的少数者に対する社会的な認知が進むとともに、パートナーシップ宣誓制度を導入する自治体も大幅に増加したところです。

こうした社会情勢の変化を踏まえ、改めて宣誓している方のニーズを把握するとともに、他の自治体の状況を確認し、それらの結果を総合的に勘案して改正することが必要だと認識しまして、制度の改正に向けて現在取り組んでいるところです。

- 読売新聞 ファミリーシップについてはどうお考えでしょうか。

- 市長 ファミリーシップについては、今回のニーズ、アンケート調査などを行った際に、ファミリーシップの必要性といったこともアンケートの中からもニーズとして出てまいりましたので、そういう方向に改正していこうというものです。

その他：経済団体との意見交換会について

- 埼玉新聞 昨日経済団体と意見交換会、情報交換会ありましたけど、昨日も伺いましたけれども、改めて物価高騰対策というのは何か検討されていますでしょうか。

- 市長 昨日経済団体との意見交換会をさせていただきまして、今回の経済状況でいうと、一昨年から新型コロナウイルス感染拡大によって、業種を問わず多くの市内の企業の業績が悪化して、売上げがコロナ以前の水準にまでなかなか戻らない状況があったわけですが、そのような中で、今回原油価格、また物価の高騰、また急速な円安の進行によって、電気代あるいは原材料価格など調達コストが上昇して、企業業績が圧迫されている状況を各団体からお伺いしました。

今後も原油価格・物価の高騰、また国際情勢や為替相場の推移等が見通せない状況の中で、予断を許さない状況が続くと考えておりますので、そうした中で、私たちとしてはこういった御意見を踏まえて、まず今議会中に対応できるものがあれば速やかに対応していく。そして、今議会に間に合わないものについては、引き続き情報収集を継続しながら、国や県が行

う経済対策も踏まえながら、基礎自治体として適切な支援が行えるように引き続き検討してまいります。

その他：私立保育施設等への支援の検討状況について

- 埼玉新聞 あと、補正で公立保育所なんかの電気代の話が出ていましたけれども、議会で私立の保育所にも支援の検討を始めていますというお話だったんですが、その後いかがですか。
- 市 長 今検討しているところです。
- 埼玉新聞 まだ変わっていないということですか。
- 市 長 検討して、どうするかというところで。いずれにしても今議会中にできることについては、しっかりやっていきたいと思っています。
- 東京新聞 では、質問ないようですので、お返しいたします。
- 進 行 それでは、以上をもちまして市長定例記者会見を終了させていただきます。

なお、次回の開催は7月1日金曜日、午後1時30分からを予定しております。本日はありがとうございました。

午後 2時13分閉会

※この議事録は、明らかな言い直し、重複した言葉遣い、話し言葉などを読み易く整理したものを掲載しています。なお、会見後追加・訂正・補足等された文言等については（ ）とし、下線を付しています。